

アクセラレータープログラム企画運営業務委託 質問書に対する回答

	質問事項	回答
1	ワークショップ実施時間のカウント方法について 仕様書 5(3)③・5(4)③に、リサーチソン／アイデアソンのワークショップは「参加者1組あたり6回（合計12時間）を目安」とご記載いただいております。 本業務を集合型（複数の組を同一会場で同時に実施する形式）で運営する場合の時間の数え方について確認させてください。 たとえば、4組を同時に集めて1回2時間の集合型セッションを実施した場合、この2時間は「各組それぞれ2時間（＝各組の合計12時間にそれぞれ算入される）」という理解でよろしいでしょうか。	4組を同時に集めて、1回2時間のワークショップを集合型で実施した場合は、参加者各組がそれぞれ2時間のワークショップに参加したものとして取り扱います。
2	参加者（4組）の募集・集客の役割分担について 仕様書に受入組数「4組を目安」とご記載いただいております。 この4組の募集・集客につきまして、主たる責任は受託者・委託者（コンソーシアム）のいずれが担う想定でしょうか。 広報活動（仕様書 5(1)）は受託者が発注者と連携して実施する旨の記載がございますが、集客にどの程度の工数・費用を割くべきかによって、ワークショップ本体（参加者への伴走支援）に充てられる比重が変わってまいります。 （集客に相応の比重を置く場合、その分、伴走支援の設計を簡素にすべきか等の判断にも関わります。） つきましては、想定される集客の役割分担や、受託者側で集客にどの程度の比重を置くことを想定されているかについて、お考えがあればご教示いただけますと幸いです。	参加者（4組）の募集については、受託者が主たる責任を担うものとします。 コンソーシアムは、参加者募集用のチラシや募集ページ等の広報物を作成するとともに、ホームページやSNS等による情報発信、起業家向けコミュニティ「MIX」参加者への周知、コンソーシアムの支援機関への参加者の紹介依頼などを行います。 仕様書に記載している「広報活動」については、受託者において、コンソーシアムが作成した広報物を活用しつつ、受託者が管理・運営する施設等へのチラシの設置、受託者が運営するコミュニティやSNS等を活用した情報発信、関係機関・関係先への周知など、参加者の確保に向けた広報活動を実施していただくことを想定しています。 また、参加者の集客については、コンソーシアムが主たる責任を担うものとし、受託者においては自身が運営するコミュニティなどで参加が見込まれる方に周知し、参加を促していただくなどのご協力をしていただくことが望ましいと考えています。